

KU

三浦半島支部だより

平成18年10月1日発行

創刊号

発行者： 社団法人宮陵会（神奈川大学校友会）三浦半島支部 企画・広報委員会

事務局： 鎌倉市津西1-31-15 Tel.0467-32-4957



6月24日神大横浜キャンパス1号館308会議室で設立総会が開催された。

支部長就任にあたり

支部長 古川 勝彦

去る6月24日（土）横浜キャンパス1号館において「三浦半島支部設立総会」が開催され、会員の皆様にご推挙いただき初代支部長に就任いたしました古川勝彦です。

神奈川県下の横須賀、鎌倉、逗子、三浦、葉山の4市1町にまたがるユニークなエリアにて、卒業生5千人をカバーする支部組織です。振り返りますと、昨年のホームカミングデー参加の有志が発起人となり、この設立に至る間、宮陵会本部のご指導、設立準備委員の支え、会員皆様のご協力により、無事発足できましたこと厚く御礼申し上げます。

今後、会員皆様の負託に応えられるよう努めていきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。今後の支部活動計画につきましては、会報等によりお知らせしたいと考えておりますが、補完機能としてはEメール等も利用したいと存じますので、加入されておられる方はアドレスを支部役員までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

特に、支部会則の目的では、卒業生会員の相互の親睦を深め、母校神奈川大学ならびに社団法人宮陵会および地域社会の発展に微力ながら貢献していく所存でありますので、重ねてよろしくお願い申し上げます。

（昭和40年経済学部経済学科卒業）

三浦半島支部設立までの歩み

事務局長 鈴木 稔

平成16年3月、60歳を迎え33年間お世話になったJAバンク神奈川県信連を定年退職しました。事務所は横浜市中区海岸通りの横浜税関前にあり、大棧橋を見渡せる場所でもありましたので、豪華客船「飛鳥」を始めとする客船を遠くから眺めておりました。

定年後の目標は、日々健康を保ち下手なゴルフが上手くなること。船の旅をすること。機会があれば神奈川大学の校友会を立ち上げることでした。

船の旅は退職前にHIS系列の旅行会社に予約を入れ、退職2ヵ月後の5月下旬にロサンゼルス港でビジョン・オブ・ザ・シーズ号（7万8,491トン。乗客員2,400名、乗組員765名）に乗船し出航。途中サンフランシスコ、ビクトリアに寄港し、最終目的地カナダのバンクーバーまで8日間の船旅を楽しみました。船内にはシアター、カジノ、プール等娯楽施設が完備されており、なにより荷物の移動がなく快適な旅行ができました。

校友会支部の設立は、三井物産支部の古家先輩を介して知り合いになった古川さん、砂川さん、田中さん、小生の4名が中心になり計画したものです。昨年10月のホームカミングデーの折、古家さんが、大学の白井理事長、宮陵会狩野会長に我々メンバーを紹介していただき、三浦半島支部立ち上げをPRされたので引くに引けなくなりました。

その後、それぞれが知人の卒業生に呼びかけを行い当初9名で設立準備会を発足させ第1回会合を昨年12月、横浜銀行南幸ビルで開催しました。

三浦半島地域に在住される神大卒業生が5千人余もいるのに、今まで支部組織がなかったことが正直不思議でなりません。このため、空白地域の解消を図ることから、支部の区域を鎌倉市から三浦市までの

4市1町にすることとし、本年3月まで3回、設立準備会を開催し会則素案等の検討を行いました。

設立委員会への移行に際し、頭を悩ましたのは委員の人選でしたが、宮陵会本部理事・代議員・職域、同期、同好会役員でこの地域にお住まいの方が多数いることを知り委員候補者24名をリストアップし、2月に参加要請の文書を発送したところ、17名の卒業生から承諾のご返事をいただきました。

第1回支部設立委員会は、3月に横須賀市立産業プラザ会議室で開催し、設立総会開催日時、場所、提出議案等を審議。6月24日(土)午後2時より母校神奈川大学で開催することが決定しました。次に障害となったのは立ち上げ費用をどう工面するかということです。約5千人の卒業生への郵送料、案内状印刷費等を含めると70万円近くの資金が必要になります。本部の助成金は手続き完了後となりますので、役員が一時立て替える必要性があります。幸いのことに平能専務から会員宛に発送する「宮陵会報」に案内状および返信はがきを同封したいという提案がありましたのでお願いすることといたしました。設立委員会は、4月、5月も開催し、その間各自治体の広報紙ならびに地元神奈川新聞社の「情報ストリート」の欄に支部設立総会開催記事を掲載してくれるよう要請しました。結果、横須賀市・葉山町の広報紙の伝言板、神奈川新聞の情報ストリートに5月掲載されましたが卒業生からの反響は期待するほどではありませんでした。反面、私の高校時代の友人2名から記事を見たとの連絡をいただき驚きました。

その後、神奈川新聞社勤務の原さん(昭和46年英語英文学科卒業)からお電話をいただき、横須賀支社長石井氏を紹介され、地域版に三浦半島支部設立総会開催を一般記事として取り上げてくれるようお願いしました。原さんの強力な後押しもあり、総会直前の6月15日三段見出しで大きく取り上げていただき感謝しております。

また宮陵会本部の秋田、平能両専務そして三井物産古家支部長にはご多忙のなか、準備会・設立委員会にご出席いただき貴重なご意見を頂戴しありがとうございました。

無事設立総会を終えましたが、問題はこれからです。会員にとって魅力ある支部活動とは何か?と考えながら、さらに、今後多くの卒業生に機会あるごとに支部への参加を呼びかけ、輪を広げていきたいと思ひます。

(昭和44年第二経済学部経済学科卒業)

三浦半島支部役員

(平成18・19年度 任期2年間)

役職名	卒業年科	氏名
支部長	昭40:経済	古川 勝彦
副支部長 鎌倉・逗葉担当	38:機械	小池 邦夫
副支部長 横須賀・三浦担当	44:経済	砂川 正夫
副支部長 企画・広報担当	51:機械	内藤 正久
事務局長兼会計	44:Ⅱ経済	鈴木 稔
地区幹事長 鎌倉・逗葉担当	44:貿易	岸本 光瑞
地区幹事長 横須賀・三浦担当	48:Ⅱ貿易	塩塚 定雄
鎌倉地区幹事	31:貿易	篠田 拓郎
鎌倉地区幹事	39:Ⅱ経済	若林 秀明
鎌倉地区幹事	平17:応化	天利 裕行
逗子地区幹事	16:応化	遠藤 誠
葉山地区幹事	昭44:経済	中川 六郎
横須賀地区幹事	37:電気	角谷 彰
横須賀地区幹事	39:法学	菊池 武
横須賀地区幹事	40:工経	結城 康雄
横須賀地区幹事	平09:応化	星山 正範
横須賀地区幹事	14:応化 16:院修士	岩崎 正利
横須賀地区幹事	17:法律	星野 由希子
三浦地区幹事	昭46:英語	原 柳作
三浦地区幹事	48:法律	伊澤 隆雄
会計監査	39:経済	村田 龍也
会計監査	47:法律	田中 久夫

事務局からのお知らせ

第12回ホームカミングデーの開催

～10月15日(日) 神大・体育館～

10月15日(日)12時より母校神奈川大学横浜キャンパス体育館で第12回ホームカミングデーが開催されます。卒業生が母校に集う、新たな出会いと親睦を深め、神奈川大学の発展を支えていくことを目的とし、今年で12回目を迎えます。卒業生は誰でも参加できます。(参加費無料)

式典の他、吹奏楽部演奏、応援指導部エール、アトラクション等が予定されており毎年、多くの卒業生が来られます。

参加希望の方は、はがき、電話、ファックスでお申込みください。

(連絡先)

・神大総務部総務課 ホームカミングデー実施事務局
電話 045-481-5661 (代表)
FAX 045-491-7915



昨年開催されたホームカミングデーの一コマ。応援指導部の皆様によるエールが行われるなど、楽しい一日を過ごしました。

箱根駅伝予選会応援隊が誕生

～10月21日(土) 立川・昭和記念公園～

今年1月2日、3日に行われた第82回東京・箱根間往復大学駅伝競走に出場した神大陸上競技部駅伝チームは、総合16位の成績に終わり残念ながらシード権を確保できませんでした。

10月21日(土)陸上自衛隊立川駐屯地～立川市街地～国営昭和記念公園において予選会が行われ、我が神大駅伝チームは本大会出場を賭け参戦します。

昨年の予選会には関東学生陸上競技連盟加盟の39校が出場し熾烈な戦いを展開しました。スタートは8時30分、距離は20km。各校上位10名の合計タイムにより6校を選び、続く3校は関東インカレの成績に基づくポイント制併用により選ぶ。残り1は学連選抜チーム。

新春の箱根路を目指し、昭和記念公園には各校の応援団が集結、母校の出場選手に熱い声援が送られます。

三浦半島支部では、有志を募り応援します。参加される方は下記までご連絡ください。予選会の模様は、日本テレビでも放送されます。(昨年は翌日12時55分から14時25分まで放送しました。)



予選会の結果を待つ駅伝ファン

よこすかシーサイドマラソン最新情報

毎年11月23日(祭日)地元横須賀で開催されているよこすかシーサイドマラソン(主催 よこすかシーサイドマラソン実行委員会)に神大駅伝チームは出場しておりますが、今年の出場は未定とのことです。出場が決まりましたら地元でのレースですので、支部をあげて応援したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

〔 スタート、三笠公園～よこすか海岸通り～観音崎大橋折り返し 20 km。日本陸連公認コースです。 〕

〔 箱根駅伝予選会・シーサイドマラソンの連絡先 〕
応援隊事務局 鈴木 稔
電話 090-9950-6054
メール ne2tf6@bma.biglobe.ne.jp

第38回全日本大学駅伝に出場

～ 予選会第5位で出場権をゲット ～

駅伝チームは11月5日(日)開催される「第38回全日本大学駅伝」に出場します。(3年連続12回目)

この大会は、愛知・熱田神宮から三重・伊勢神宮まで8区間、106.8 kmを走ります。なお当日朝8時から、テレビ朝日系列局が全国ネットで中継放送いたします。テレビの前で声援をお送りください。

神大フェスタ(学園祭)のお知らせ

～11月4日・5日 神大横浜キャンパス～

一時中断された学園祭は、平成11年復活を願う学生の手により神大フェスタとして生まれ変わりました。

今年は11月4日(土)、5日(日)に神大横浜キャンパスで開催されます。学生・地域住民が一体となった学園祭に参加されませんか。なお湘南ひらつかキャンパスで10月28日・29日に平塚祭(学園祭)が開催されます。

三浦半島支部新年会を新春に開催

1月20日(土)横須賀市内で行います

来年1月20日(土)横須賀市内で初めての新年会を開催いたします。開催時間、場所、参加費用が決定しましたら案内状をお送りいたします。送付時期は11月上旬の予定です。お知り合いの卒業生をお誘いのうえ、ご出席ください。

役員会開催状況の報告

〔 第1回役員会 〕

開催日時 平成18年7月20日(木)19時
場所 横須賀市緑ヶ丘「魚籃亭」
参加人員 12名
議題

- (1) 三浦半島支部だよりの発行について
 - (2) ゴルフ同好会の設立について
 - (3) 会員名簿について
 - (4) 支部顧問・相談役制度について
 - (5) 次回役員会の開催場所および議題について
- (報告事項)

1. 三浦半島支部だよりは、年2回発行することとし第1号は10月1日に発行すること。経費を節減することから手作りで行う。
2. ゴルフ同好会の設立は承認されました。
3. 会員名簿の発行については、次回総会までに会員の意見を聞き、住所・電話番号等の個人情報開示を承諾された会員のみの名簿を作成する。
4. 支部顧問・相談役制度は、必要性を見極めた後、役員会で検討承認後、会則改正を総会に諮る。
5. 次回役員会は、9月鎌倉市内で開催する。

〔 第2回役員会 〕

開催日時 平成18年9月21日(木)19時
場所 鎌倉市御成町「銀座アスター鎌倉賓館」
参加人員 14名
議題

- (1) 支部新年会開催について
 - (2) ホームカミングデーについて
 - (3) 箱根駅伝予選会応援について
 - (4) 神大フェスタについて
 - (5) 次回役員会の開催場所および議題について
- (報告事項)

1. 支部新年会開催日時・場所等は内定。詳細決定次第、会員に案内状を発送する。
2. ホームカミングデー・神大フェスタの参加は自由参加とする。
3. 箱根駅伝予選会応援は有志を募り参加する。
4. 「歩こう会」の設立が承認されました。
5. 次回役員会は12月16日(土)12時より三浦市内で開催する。

支部同好会通信

12月第1回オープンコンペを開催

ゴルフ会 世話人 中川 六郎



8月18日実施されたオープンコンペ (葉山国際)

三浦半島支部ゴルフ会の発足を記念し、とりあえず有志に声をかけ、新ペリア方式によるオープンコンペを8月18日(金)葉山国際カンツリー倶楽部で行いました。台風10号の接近で直前まで心配した雨もおさまり暑い日となりました。呼びかけに呼応した8名全員が、集合時間の9時半に葉山国際カンツリー倶楽部ロビーに集合しました。

前半、1組の古川、武笠(宮陵会副会長)、鈴木氏が40台のスコアでリード。昼、みんなビールを飲んで後半にのぞみました。2組目の斉藤氏(神奈川新聞社)が三つのパーとロングでパーティを決め44と抜け出しました。ネット74 gross 97で優勝。二位に支部長の古川氏、三位に事務局長の鈴木氏が入りました。

風呂から上がると5時半を回りゴルフ場での反省会は無理になり、葉山一色の「もう一つの風景」で表彰と全員にスピーチしてもらい7時過ぎお開きとしました。

このように宮陵会三浦半島支部ゴルフ会を発足させたので、会員のなかでゴルフを楽しんでいる方は、是非お気軽にご参加ください。運営の詳細はまだ決めておりませんが、年3~4回程度のゴルフ会を実施する予定です。

12月7日(木)エンゼルカントリークラブで第1回

オープンコンペを4組で開催します。参加希望の方は、下記にご連絡ください。集合時間・場所・スタート時間費用等詳細は後日ご連絡いたします。

連絡先：中川 携帯 090-9003-2499

自宅 046-875-4360

メール nakaroku@jcom.home.ne

〒240-0111 葉山町一色1087

< 9月10日現在、次の9名の方々がゴルフ会に参加を表明しております。(敬称略)>

村田 龍也(39経済・横須賀)・石井 和行(39法経・鎌倉)・古川 勝彦(40経済・鎌倉)・飛田 晴久(41電気・鎌倉)・砂川 正夫(44経済・横須賀)・鈴木 稔(44経済・横須賀)・内藤 正久(51機械・横須賀)・原 柳作(46英語・三浦)・中川 六郎(44経済・葉山)



会員からの短信



今回、会員の皆様から多数の原稿をお送りいただきありがとうございます。学生時代の思い出、趣味、旅行記、仕事のこと等テーマは自由です。次号以降も掲載しますのでよろしく願いいたします。

原稿は下記までお送りください。

(送付先)

〒239-0835

横須賀市佐原3-21-33 鈴木 稔

メール ne2tf6@bma.biglobe.ne.jp

会報発行に寄せて

川瀬 元夫

支部発足おめでとうございます。

役員皆様の年余に亘る事前ご準備、そしてこの度の会報発行へと、お仕事をお持ちの方々も居られることと推察しますが誠にご苦労様でございます。

私は、昭和31年(1956年)法経学部経済科卒業、同時に横浜の石油専門輸送会社に入社し、同社一筋、平成13年(2001年)まで勤めました。

会社が在職中は大学とは縁遠かったのですが、平成7年頃、会社が神大留学生(英国人)のOJTを引き受けたのを機会に繋がりができ(担当)、一時は、私も西語の科目等履修生として通学していました。

今は、クイーンズタワーA棟14階の神大生涯学習講座を利用しております。また在学当時在籍したラテンアメリカ研究会OB諸先輩や、鎌倉地区幹事篠田さん他皆様との交流を続けております。

人生の第4コーナーに入り、現在生涯学習、体力相應の奉仕活動、スポーツクラブ通いで日々を過ごしておりますが、卒業して半世紀、今夢一杯のキャンパスを見て往時の学び舎を思い起こし感無量です。

老境のため無力では御座いますが、出来るだけのご協力をさせていただきます。今後とも、機会または会報を通じて会員皆様とのご交情を宜しくお願い申し上げます。

(昭和31年法経学部経済科卒業)

還暦を迎えた今

砂川 正夫

6月24日、事前準備を幾度となく重ね宮陵会三浦半島支部設立総会に迎り着けることになり、盛会の内に終えたが当日一身上の都合により、私として総会に参加出来なくなり皆様方にご迷惑をかけたことが、大変申し訳なく、今でも悔やまれます。

さて私は、昭和44年経済学科卒業、卒業時学園紛争

が起きていたが、まだ全盛期ではなく授業の遅れはそれほど酷くなかった。ゼミナールは藤田忠先生、コンピュータを利用した数理経済学を学び、それをひたすらアルバイトに活用、戸塚にある日立製作所ソフトウェアセンターで、HITAC8000シリーズによる電話交換機の最適回路検索のオペレーターとして、当時としては高いアルバイト手当を獲得、それを資金に遊び歩いておりました。

就職は建設会社に入社、人事課、電算室を経て営業を30年。現在は第2の人生、三浦半島は先端の神奈川県立観音崎公園の指定管理者として勤務、事務所から窓越しに見える浦賀水道の大型船を眺めながら、ひよっとすると長生きしそうな人生を送っております。

そして、片手間15年ぐらいつづけているNPO環境団体に所属し“昔のようなきれいな海を取り戻す”ためアマモの再生、ヨシの育成、海岸を取り戻す運動、親水性護岸の推進等、市民活動を展開しております。

現在、勤務している公園は、公園管理業務の他、来園者へのサービス活動、大人向け・子供向けのイベント企画もあるのでNPOを生かし公園の三大要件“緑、空間、静けさ”を考慮しながら企画立案しているところです。

宮陵会三浦半島支部立ち上げ、NPOの活動等、今年還暦を迎えた現在、私に与えられた天命だと益々意気盛んな今日この頃です。

(昭和44年経済学部経済学科卒業)

同窓会は「異業種交流会」だ

原 柳作

団塊世代の一人として「まだまだ現役、もう一度青春」という標語を、どこかの雑誌広告のコピーで見つけた。大学を卒業して30数年経った。50代の後半。まもなく定年。人によっては、「はあ、はあ、ふう、ふう」いってる人もいるが、健康で、体力、気力に衰えを感じず、足りないのは努力と勉強?だけの私は、前述の標語を目下の支えにして、気合を入れつつ、日々を送っている。

このようなときに、三浦半島宮陵会の参加呼びかけを手にした。これまで、仕事の上で大学に大変お世話になってきたが、同窓会という立場での係りは「永久会員3万円」の会費をお支払いした程度のお付き合いに過ぎなかった。が、このたびの、いわば「町内会」への呼びかけには喜んで呼応させていただくことにした。皆様には

、よろしくお付き合いのほどをお願いしたい。

日本の武家政治の始まりである鎌倉。青い海と緑豊かな逗子。日本ヨットの発祥の地であり保養の町・葉山。日本の近代化に大きな役割を担った横須賀。かつてはマグロ漁業の基地として栄えた三浦など、今回の同窓会対象地域は、県内ばかりでなく日本全国からみても特徴のあるところばかり。ここに「入会資格＝神大卒、居住地＝鎌倉、逗子、葉山、横須賀、三浦の四市一町に限る」という「異業種交流団体」が誕生した。親睦を深め、地域貢献を考え、あわせて母校の発展に寄与する一というこの「新団体」の方針に、一員として参加させていただきま

す。すぐには大勢の方の参加を期待できないまでも、当面の目標は100人、次は200人、次は300人と徐々に会員を増やす努力を重ね、10年後には500人を超える組織を目指せるのでは。そして会員それぞれの人生に潤いを与え、人生が豊かで稔りあるものとなる一つのきっかけ作りとなれば、「異業種交流団体」の結成は、大変有意義なものとなるでしょう。

会員の子供さんはもちろん、親戚や友人の孫、曾孫が20年後、30年後にこの会員となって、活躍されるような組織に皆さんとともにしていきたい。

(昭和46年外国語学部英語英文学科卒業)

三浦半島支部設立によせて

伊澤 隆雄

三浦半島支部設立、誠におめでとうございませう。横須賀、鎌倉、逗子、三浦、葉山の四市一町の神大卒業生5千人をカバーする支部組織としては、校友会のなかでユニークな存在ではないかと思ひます。

第一回三浦半島支部役員会が7月20日(木)、横須賀市緑ヶ丘の「魚藍亭」で開催された。この「魚藍亭」の前の坂道を登りきった所に白い建物があり、現在は病院になっておりますが、戦前は旧海軍病院であったと聞いております。戦前、横須賀市は旧帝国海軍の基地でありました。中世において鎌倉には鎌倉幕府があり、三浦市は鎌倉幕府の要職を占めた三浦一族が出たところでありました。逗子市と葉山町は明治、大正にかけて東京の別荘地でありました。

このような歴史的立地条件のある支部組織もめずらしいと思ひます。

本で読んだことがあります。戦前鎌倉市の光明寺で「鎌倉アカデミア」があり、前田武彦、いずみたくなどが卒業した専門学校で、戦後大学に昇格せず解散したと云うことだす。多くの学生が学びました。

役員会で古川支部長が生涯が学習であると述べていました。「三浦半島支部アカデミア」とでも名付けておおいに飲み、語り、学習し、歩き、スポーツをして第二の青春時代を過ごそうではありませんか。思いつくままに文章を書いてみました。

(昭和48年法学部法律学科卒業)

大学時代の思い出

岩崎 正利

大学時代の思い出と言へば、大学の構内にいた時間が長かったように思ひます。その理由は大きくわけて2つあるのですが、ひとつは部活動(吹奏楽部)であり、もうひとつは、研究室で実験をしていたためだす。部活動、研究共に、夏休みが1週間程度しかなく、毎日夜9時過ぎまで構内におり、特に吹奏楽部では土曜日のみならず、日曜日や祝日も変わらず練習していました。

そんな、大学生生活のなかで特に印象的だったことは、吹奏楽部に入っ、海外遠征をしたことだす。吹奏楽部は、その当時80名くらい所属しておりました。活動も非常に活発で、毎年行われる吹奏楽の全国大会でも優秀な成績を修めていました。

もちろんそのような成績を修めるためには、厳しい練習が必要で、1年のうちの9割以上(年数回の「休部」と呼ばれる完全オフ日以外)は、練習に精を出す生活を送っていたように思ひます。

そんな中、スペインで行われるコンクールに日本代表として出場すると言ひ話を頂戴いたしました。大学3年の頃だす。1週間程度ととても短い遠征でしたが、初めての海外を訪れた私にとっては、驚きの連続でした。例えば、コンクール会場になっていた闘牛場の広さに驚いたことや、他の団体の演奏のスケールが日本とは全く違ふことに、鳥肌が立つくらい感動したことが今でも思ひ出されます。一般的なツアーで行く海外ではなく、世界を知り、世界に挑む機会という意味では、最高級の経験が体得できたのではないかと考えています。

またコンクール以外にも、美術館の見学や、フラメンコを見ながらの食事、サクラダファミリアを実際に体感

できたことなど、日本に居てテレビなどの媒体を通して映像で知りえた2次元の情報だけでは、足りないくらいの圧倒的な何かに触れることができたことも、素晴らしい思い出のひとつです。

最後に、このような素晴らしい機会を与えてくださった大学の皆様、遠征に際し多大な寄付をしていただいた宮陵会の皆様、並びにテスト前であるにもかかわらず快く遠征に行かせてくださった応用化学科の教授の皆様、そして両親に感謝いたしています。

(平成14年工学部応用化学科卒業)
(平成16年工学研究科応用化学専攻卒業)

交流会ニュース



県立観音崎公園で“コケ”の除去作業

砂川 正夫

去る、9月6日県立観音崎公園において公園内園路の滑り止め防止策としてレンガ上の“コケ”の除去実験が行われた。

これは日常の来園者のため、また公園内で行われる横須賀市中学校駅伝大会の選手の転倒防止策として施すもので、以前はバーナでコケを焼却除去していたが、今回は別の方法をとった。

それは、宮陵会三浦半島支部の親睦会を通じて、角谷(横須賀地区幹事、電門工業顧問)さんとの交流から生まれたもので、角谷さん勤務の電門工業は、光媒体による室内の環境改善事業をメインとしてバイオ関係業務を手掛け、そして今回のコケ除去も自然放流できる水溶性除菌洗浄剤を使用、環境に負荷のない対策をとった。当日午後、門馬社長、角谷顧問、公園職員10名で3時間の作業を行った。

観音崎公園にかぎらず、特に公園管理は環境に重きを置き、樹木、草花の防虫管理は極力化学薬品を使用しない方法で処理し、動植物の自然の住みかとして又来園者のやすらぎの場として提供しております。

三浦半島支部は、卒業年次、異業種と幅広い交流の場としての会員の集まりです。親睦会、ゴルフ会、企業交流等と皆様方の活発な活動を広げましょう。

(昭和44年経済学部経済学科卒業)

支部年会費納入状況

(平成18年9月22日現在)

[1年間(平成19年3月まで)納入者]

(鎌倉)	小永井 潔	篠田 拓郎	川瀬 元夫
	岩崎 英昭	渡辺 静雄	山岸 一輔
	天利 裕行		
(逗子)	山本 厚	川瀬 行成	長沢 良成
	中島 龍彦	遠藤 誠	
(葉山)	中村 進	小池 邦夫	中川 六郎
	周藤 亜矢子		
(横須賀)	鈴木 昭利	島 久喜雄	沖 丞
	三上 和男	萩原 孝	角谷 彰
	石渡 敏夫	籠田 隆康	金野 義勝
	相原 充	鳥海 洋義	青山 隆一
	鈴木 伸夫	長島 保雄	二井 美恵子
	箕輪 義夫	岩崎 正利	早川 智子
	鈴木 康介	星野 由希子	伊澤 隆雄
(三浦)	片寄 孝男		

[4年間(平成22年3月まで)納入者]

(鎌倉)	小澤 光	石井 和行	若林 秀明
	北野 紘一	古川 勝彦	
(逗子)	岸本 光瑞	松本 育雄	
(葉山)	岩澤 正之		
(横須賀)	山内 元式	森 茂	八嶋 政臣
	石井 一男	落 勝廣	菊池 武
	村田 龍也	結城 康雄	金井 昌孝
	熊澤 勝喜	寺脇 敏彦	早川 勝繁
	福島 康臣	砂川 正夫	森下 守久
	鈴木 稔	野村 晴男	田中 久夫
	嶋田 晃	塩塚 定雄	舟崎 学志
	内藤 正久	清水 英樹	星山 正範
(三浦)	原 柳作	工藤 真也	石渡 大湖

以上

(会費納入者73名・会費未納者17名)

(2) 会 場

横浜みなとみらい クイーンズスクエア
A棟14階「KUポートスクエア」

(3) 参 加 費 無料

(4) 問合せ・申込み先

神奈川大学産官学連携推進室
「フロンテアサロン係」田口室長
電話 045-481-5661

大学卒業後、都内のメーカーに勤務し、その後ISO 9000シリーズについての調査をするため大学院へ進学。博士論文：「日本金型産業の競争力の源泉」
—知識集約型産業の確立を目指して—

< 研究者紹介 >

・森田 和光

1968年 横浜市立大学商学部卒業
同 年 山武ハネウエル入社（2006年定年退職）
1998年 神奈川大学大学院経営学研究科博士前期課程修了
2004年 ハネウエルジャパン株式会社入社
2005年 神奈川大学大学院経営学研究科博士後期課程修了 博士（経営学）

学位論文：生産財製造業における戦略
—競争優位を確立する策定方法—

研究テーマのキーワード

能動的戦略、変化誘起戦略、自己革新組織等

・新海 貴弘

1994年 神奈川大学経営学部卒業
1996年 神奈川大学大学院経営学研究科博士前期課程修了
同 年 カテナ株式会社入社
2001年 神奈川大学大学院経営学研究科博士前期課程単位取得満期退学

2003年 個人事務所マウントシックス設立
大学院時代よりコンピュータ関連（ITスキル、WEB構築）企業のパートナーになり、IT講習の企画運営および企業・自治体のWEBサイトの企画、構築、運営を行う。また大学院時代より、投資家向け広報におけるWEBの活用方法等も研究。

・田中 美和

1996年 神奈川大学経営学部卒業
1999年 神奈川大学大学院経営学研究科博士前期課程修了
2005年 神奈川大学大学院経営学研究科博士後期課程修了 博士（経営学）

(論 文)

- ・第12回「2001年への提言」財団法人2001年日本委員会主催、朝日新聞社後援。優秀賞
テーマ ころの時代 —ものづくりの教育現場が 私たちに教えてくれること—
- ・FAクラブ懸賞論文 奨励賞
論文タイトル 「金型産業における経営戦略としての顧客強化能力について」
- ・第17回黒澤賞懸賞論文 日本経営管理協会協会賞
論文タイトル 「金型企業における顧客競争力に関する考察 —顧客側リード・タイム短縮を目指す参画型活動の視点から—

(資 格) ネビル・クラーク主任監査員コース終了

・金 宇烈

1994年 韓国・東国大学行政学科卒業
1997年 関東学院大学大学院経済学研究科経営学専攻修士課程終了
2002年 神奈川大学大学院経営学研究科博士後期課程修了 博士（経営学）

学位取得後、シルバー産業分野に勤務後、中小企業向けのコンサルティング事務所でコンサルタントとして勤務。2004年より神奈川大学経営学部非常勤講師

～編集後記～

月日が経つのは早いもので、設立総会を神大横浜キャンパスで開催してから3か月が経過しました。資金がありませんのでパソコンを使用し手作りの作業で悪戦苦闘しましたが、第1号が無事発行でき安心しました。パソコン操作が未熟なため相当時間がかかりました。横須賀・三浦地区幹事長塩塚さん、アドバイスありがとうございます。次号は、来年4月頃に発行します。紙面内容の充実を期するため、編集委員会を立ち上げたいと思いますので、ご協力お願いします。ホットな情報を事務局までお寄せください。
(M)